

科目コード		記号	科 目 名	
8540		AK10	会計監査論：Auditing	
教 員 名		田川 晋也：Tagawa Shinya		
学年	単位・時間	必修・選択		授業形態
2 K	2・100分	選択		講義・前期
授業概要	会計監査は、財務情報の信頼性を確保するために行われる。			
到 達 目 標			評 価 方 法	
1. 会計監査の理論が理解できる。 2. 会計監査の実務上の問題点を説明できる。 3. 内部統制の監査上の役割について理解できる。			評価方法は、①定期試験80%、②レポート20%とする。	
学習・教育目標		(C)②	JABEE基準1 (1)	(d)－(4)
前 期				
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	会計監査のフレームワーク①	監査の定義、必要性	
	第2	会計監査のフレームワーク②	監査の限界、監査の種類	
	第3	会計監査の生成	イギリスとアメリカでの監査の発達史	
	第4	日本の監査制度	金証券取引法監査と会社法監査	
	第5	期待ギャップと監査戦略	期待ギャップの解消	
	第6	監査基準	監査基準の意義、体系	
	第7	一般原則	監査人の義務・責任	
	第8	内部統制①	内部統制の構成要素、内部統制の運用	
	第9	内部統制②	内部統制監査	
	第10	監査計画	リスクアプローチにおける監査計画	
	第11	監査手続	監査手続の種類、分析的手続、試査	
	第12	監査意見	監査意見の意義、二重責任の原則	
	第13	監査報告書	監査報告書の記載事項の意義	
	第14	監査のひろがり	保証業務	
	第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。	
関連科目		財務諸表論		
教 科 書		監査入門ゼミナール(長吉真一・奥島須賀子共著・創成社)		
参 考 書		ケースブック監査論(吉見宏・新世社)		
授業評価・理解度		最終回にアンケートを行う		
備 考		必要に応じてプリント教材を配布する		